

建築における近代

——一九世紀欧米の建築家・建築産業に関する研究——

工学博士 佐藤 彰 著

建築における近代を、建築家、建築産業の営為の中に探ることを主題とし、対象とする時期、地域を一九世紀の欧米に求めている。建築を産出する担い手は、大きく建築家と建築産業に分かれたるが、それぞれの営み、とりわけ仕事のプロセスに孕まれる近代固有のものの抽出と考察を試みる。

建築史学が広がり、深まりを見せる中で、建築家の職能樹立と建築生産体制形成の双方を総合的に捉えたといえる研究は見あたらない。これは、研究者が意識的に視野を限ってきたため、とも言いきれない。職能史にとどまらず、建築家については、様々な角度から精細に論じられてきたのに対し、建築生産体制の近代における形成、展開については、研究が空白に近い状態にとどまっていた。建設企業の沿革、社史の類は書かれても、近代建築産業成立の学問的研究は、等閑に付されてきた。したがって、建築家と建築生産体制を併せ論じようとする、後者については、まずもって基礎的な研究から出発することが求められるのである。

本書の主題は、建築家、建築産業の営為の中に近代の特質を検出するというものであるが、上記のような研究の進展の跛行的状況を踏まえた形で、本書は構成される。

(著者「はじめに」より)



イギリス国会議事堂の工事風景（1855年 周囲に走行クレーンを配置し、塔建設に蒸気力クレーンを使用している）

B5判、上製本・函入り
本文四九二頁 挿図一九九点
定価二七、三〇〇円（本体二六、〇〇〇円＋税）
ISBN978-4-8055-0621-9 C3052

「目次」

まえがき

I部

一九世紀の建築家の営為に関する事例研究

1章 建築における近代の原像

2章 ダニエル・ハドソン・バーナム

3章 ルイス・ヘンリー・サリヴァン

II部

成立期における英国近代建築産業

序

第一篇

総合請負業者の勃興

はじめに

1章 中世的建築生産体制の動揺

2章 一式定額請負契約の普及

3章 勃興期の総合請負業者達

4章 大規模総合請負業者の諸側面

第二篇

建築生産技術の進展

はじめに

5章 石材加工

6章 木材加工

7章 煉瓦製造

8章 各種部品、設備機器の商品生産

9章 揚水、混練、杭打等

10章 揚重

第三篇

近代建築産業成立をめぐるいくつかの問題

11章 新しい生産体制成立の契機

12章 産業資本としての総合請負業

13章 生産手段拡充の意義

14章 内包された矛盾

付記

あとがき

図版出典一覧

参考文献

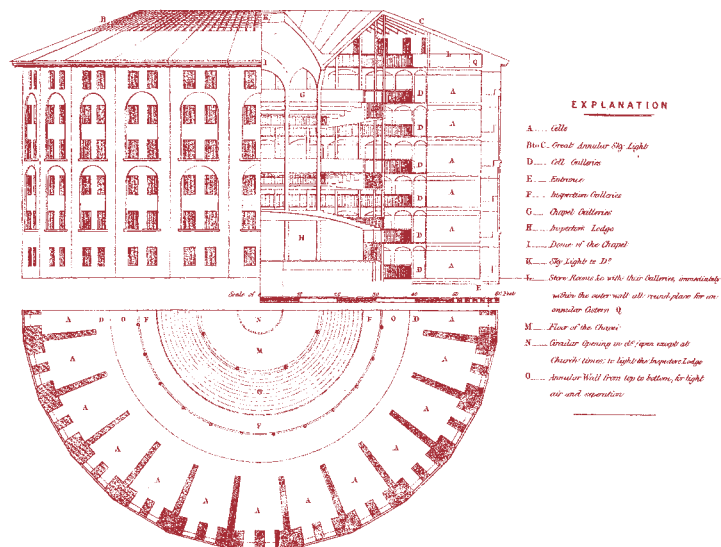
索引

I 部

近代という時代を、色濃く映して生きたと思われる一九世紀欧米の建築家を拾い出し、彼等の思考、営為を、矛盾、葛藤をも含めて描き出す作業が、事例研究の形でなされる。

1章は、建築家が体現する近代について、原像の描出を図つたもので、功利主義の思想家ジェレミー・ベンサムのほか、ジャン・ニコラール・デュラン、ジョージ・ギルバート・スコットが論じられる。

2章は、その系譜を延長し、一九世紀末の



J. ベンサム提案の懲治監に応用されたパノプティコン



1893年シカゴ博に際しての設計室風景

第一篇では、新しい施工方式が登場し、新しい営業形態が広がりを見せる過程が解明される。

第二篇では、生産技術の進展状況が各部門にわたって示される。

そして、これらを踏まえた上で、第三篇において建築生産の近代的特質が論じられる。

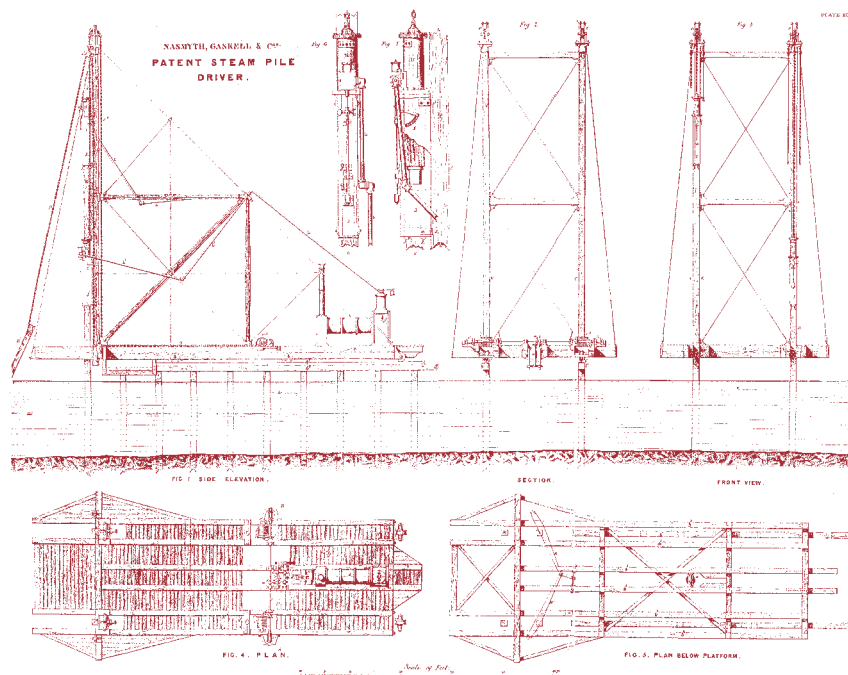
I部で見た建築家が直面した諸問題も、最終的にこの全体構図の中に位置づけられることになる。

II 部

主に一九世紀初期から中期のイギリスの建築産業に焦点をあて、基本的事実を明らかにし、近代的特質を論じる。

シカゴで活躍したダニエル・ハドソン・バーナムの再評価を試みたものである。

3章は、しばしばバーナムと対比されるルイス・ヘンリー・サリヴァンを、新たな視点から考察し直したものである。



J. ネイスミスが1843年に開発した杭打ち用スチーム・ハンマー

〈著者略歴〉

佐藤 彰 (さとう あきら)

1943年 仙台生まれ
1967年 東京大学工学部卒業
1967年 名古屋大学工学部助手
1969-70年 科学研究費海外学術調査「フランス中世美術史蹟学術調査」に従事
1987年 工学博士
1990-92年 学術振興会・英王立協会の研究交換事業によりロンドン大学で在外研究
1993-09年 愛知教育大学助教授、教授

主要論著

Building in Britain, the Origins of a Modern Industry (ed. by Ralph Morton), Scholar Press, 1995, (建築史学会賞)、「Fonthill Abbeyのtheatricalityについて」(久田晴則編『文化のカレイドスコープ』英宝社2003年所収)、「初期工業化のもとでのイギリス建築——もたらされた「虚偽」をめぐる」(鈴木博之他編『材料・生産の近代』シリーズ都市・建築・歴史9 東京大学出版会 2005年所収)、『崩壊について』中央公論美術出版、2006年、「場に宿るもの」(鈴木博之・東京大学建築学科編『近代建築論講義』東京大学出版会 2009年所収)

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

お取扱いは